

## 「より深い祈りへ 前編」

「より深い祈り」とは、祈りを聞いて下さる聖なる神様に更に、もっと近づくことです。聖なる神様に近づく事は、自分の今の心の姿をご聖霊に照らして頂く事から始まります。クリスチャンは行いの罪(Craime:法律上、刑法上の罪)については、罪の告白をもって十字架の赦しを頂き、謝罪もしているでしょう。しかし、(Sin:内面の罪、赦さない罪、偶像礼拝、道徳的罪)については、心の内側に隠してそのまま蓋をして、触れないようにしていることも多いのではないのでしょうか。「より深い祈り」に導かれるためには、十字架の主の前に心を開き、ご聖霊に深く探って頂き、この(Sin)について、神様の十字架による赦しを頂く事から始めなくてはなりません。

### 今日の聖書の学びの要点

「より深い祈り」は十字架によって罪の赦しが与えられ、神様と自分の間に何一つ隠し事がない関係において、与えられます。ご聖霊に導かれ、自分の心を開いて悔い改め、十字架によって赦されることから始めましょう。

## I、霊的成長の過程

1、「より深い祈り」は「救い」の原点に戻るところから始まります。

(ルカ 15:11～17)

①「救い」とは、罪に気がつく、罪を認めることから始まります。

・放蕩息子が犯した罪とは何でしょうか。

◎父(神様)から遠く離れてしまった… 神様を無視し、神様の声を聞かない。

◎放蕩(自分勝手に酒や女遊び、遊興に溺れ)をして欲望のまま生きる。

◎放蕩の原因は、自己中心の生き方、考えかた、肉欲、誘惑をコントロールできない。

・放蕩息子はどの時点で、自分の罪の姿に気付いたのででしょうか。(ルカ 15:17)

②「救い」は、行いによりません。信じる事から始まります。

- ・ルカ 15:17 を読みましょう。
- ・放蕩息子の幸いは父(神様)を思い出したことです。
- ・放蕩息子は父(神様)の愛と赦しを確信していた。

③「救い」は、罪の赦しが与えられ、永遠の滅びから救われることです。

- ・放蕩息子はハッキリとした罪の告白をしています。(ルカ 15:21)
- ◎漠然とした告白では、罪の赦しがぼやけます。(詩篇 32 : 5)

2、「より深い祈り」は神によって罪を赦され、「義と認められる」人に与えられます。

①「あなたの子と呼ばれる資格はない」(ルカ 15:21)と放蕩息子は言いましたが、「神の子と呼ばれる資格」とは何でしょうか。

- ・何も罪を犯してないと思っている人ではない。(ルカ 15:28~30)
- ・罪を赦して頂き、全く罪を犯したことがない状態と認められること。

②「神の子と呼ばれる資格」は、イエス・キリストの十字架によってのみ、与えられます。(ローマ 3 : 23~24)

③イエス・キリストの十字架によって罪を赦して頂いたものには、神の子となる特権が与えられます。(ヨハネ 1 : 12~13)